

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒215-0021
 住 所 川崎市麻生区上麻生1丁目1番1号
 氏 名 中新産業株式会社
 代表取締役 中島 真一

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	中新産業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市麻生区上麻生1丁目1番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	貸事務所業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,253	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	中新産業株式会社
		所在地	川崎市麻生区上麻生1丁目1番1号
		電話番号	044-953-5111
		FAX番号	044-959-3657
		メールアドレス	
※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,862 t-CO ₂ (調) 5,842 t-CO ₂	(実) 5,758 t-CO ₂ (調) 5,736 t-CO ₂	(実) 4,489 t-CO ₂ (調) 4,471 t-CO ₂	(実) 3,951 t-CO ₂ (調) 3,936 t-CO ₂	(実) 4,992 t-CO ₂
削減率		(実) 1.8 % (調) 1.8 %	(実) 23.4 % (調) 23.5 %	(実) 32.6 % (調) 32.6 %	(実) 14.8 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	冬期の空調管理を見直した結果、冷温水発生機（冷房・暖房）運転時間を削減。 また東日本大震災の影響で平成23年3月のエネルギー使用量が減ったことにより、夏期の空調使用量は基準年度比150%程になっていたが、結果として1.8%の排出量削減となった。
第2年度	電力需給問題により節電を継続。 また空調衛生照明設備の機器更新工事を実施したことによりエネルギー消費量が減少。 結果として23.4%の排出量削減となった。
第3年度	当初計画どおり設備の省エネルギー機器更新工事を実施し、震災以降は節電対策を併せて実施したことで、目標排出量を1,041 t-CO ₂ 下回る削減ができた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○既存空調機器を高効率チラー、マルチエアコンに更新。 ○館内温度・CO2濃度の監視による空調運転の適正管理。 ○冬期の空調管理方法を見直し、冷温水発生機(冷房)運転の停止。 ○館内照明を節電型ランプ・LEDへ順次更新の推進。 ○不要照明を見直し、営業・執務時間外の消灯。 ○蛍光灯器具の鉄心安定器からインバーター電子安定器への交換推進。 ○管理標準の定期的な見直し・改善の実施及び未作成管理標準を早期作成。
	第 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○冬期の空調管理方法を見直し、冷温水発生機(冷房・暖房)運転の停止。 冷房時は、冷温水と外気を熱交換させることにより、冷房運転を削減した。 また暖房時は、館内熱をFCUで回収することにより、暖房運転の停止。
	第 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○空調機器・熱源を高効率の冷温水発生機、チラー、GHP、、空気・水熱源ヒートポンプユニット、ビルマルチPACに更新。 ○館内温度・CO2濃度の監視による空調運転の適正管理。 ○ビル内照明をLEDへ更新。 ○不要照明を見直し、営業・執務時間外の消灯。 ○蛍光灯器具の鉄心安定器からインバーター電子安定器(FLR40→Hf32)へ交換。
	第 3 年度	<p>計画していた、BEMS導入・空調機器更新・LED照明更新(テナント部分を除き3/4手程度完了)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子安定器およびHf蛍光灯の導入を予定通り実施した。 また、空調機器運転の見直し・設定の変更、不要照明の見直し等、ソフト面での削減対策も実施。 管理標準等の管理体制も見直し、当初の計画を予定通り遂行した。
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る
第1年度	1. 店舗からの廃棄物を計量することによる排出状況の把握および、分別化の推進を行った。
第2年度	1. 店舗からの廃棄物を計量することによる排出状況の把握および、分別化の推進を行った。
第3年度	1. 複合ビルのため多様な廃棄物が排出されるが、計量器の導入・分別化の取組みを強化したことで従業員の意識が高まり、以前は可燃物として廃棄されていたものが資源リサイクルに分別されるようになった。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,752	t-CO ₂
(調)	3,744	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
中島ビル	川崎市麻生区上麻生1丁目1番1号	6911	貸事務所	3,669 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	1

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--